

ほっぷ・ステップ・Jump!

(保っ父)

1997.07.11 Vol.31 発行:北海道の子どもと保父の会

巻頭言

「子育ての持っている魅力」を如何に知らせるか

「子育ての持っている魅力」、それは本来、誰かに知らせてもらうものではなかったのでしょうか。子と親、子と環境が密接さをもっていた時代にはそれぞれ空気のようなものであったでしょう。息切れしそうになると意識をするけれど、普段は特に有り難がることもない。しかし、無くてはならないものとして、その時々、場所で「文化」を形成してきたのです。かつての「子守女」は、魅力を語っていません。辛い労働としてあったのです。今世紀を迎えるまで子どもは必ずしも大切にされていませんでした。いや、大切にされた一部の子どもと、殺されたり放り出された多くの子どもたちがいた というべきでしょう。大切にされた子どもたちにしても、必ずしも親が手塩に掛けて育てたとは限りません。大人社会の「予備軍」として、教化されたと考えられます。つまり、人権の概念が脆弱な時代には、子育ては、生物学的な枠組みの中でとらえられ、親自身の存在や生き方に関わりのあるものとしては考えられなかったということです。しかし、今日、母性自体が女性に生来的に備わっているものでなく、子育てと共に育つものと言うことが定説になってきました。そして、子どもの育ちにおける「父親」の関わり方の在り方が、子どもにも父親自身にとっても意味がある(子どもの育ちに決定要因と言えるほどの影響力を認める研究結果もある)と言われます。地域のみならず階級やイデオロギー、会社など、何かに頼って生きて行ける世の中ではなくなってきました。僕ら自身も実感出来るように、将来に対する不安が増えています。自分らしい生き方が難しくなっている今、子育ては、自分にとっての確かなことを発見し、生きる上での新たな発想を導き出してくれるのです。何より、僕達は子どもの育ちに、実に様々な事柄が関連していることを知っています。生活の中で「子どもにとって」を考え、工夫することで、子どもが大人の想像をはるかに越える姿をみせてくれることに、感動させられ、保育に魅了させられ、僕らの意識すら変えていきます。そしてそのことが、決して職業的な特異な体験ではなく、子どもを育てるといふ営みに備わったものだけだということをもっと解き明かさなければなりません。その点を押さえて、自らの体験、実践をアピールすることも、ある意味では僕達の役割と言えるでしょう。僕らが保育を実践し、そのことを広く知らせることが、新しい地域社会を創り出していく、という大げさに聞こえるかも知れませんが、逆にならなければ危機的状況だということ意識したほうが良いと思います。(次号にも続くかも知れない)

小田 進一

風に吹かれて

保父修行物語 30 第二はとポッポ保育園 船戸敬悦

私は東京、練馬区にある、いわさきちひろ絵本美術館を訪ねていた。「少年」と題した原画の前に私は立っていた。キッとにらんだ顔が印象に残る絵だった。未来のある子どもが幸せであるよう、平和を願って、愛くるしい子どもを描き続けた画家の絵を視ていると心が洗われる思いだった。彼女のアトリエもそのまま残されていた。左利きの彼女が今ここで絵を描いているかのように、絵筆がそろえられていた。私にとっては半年ぶりの、ちひろ美術館だった。日本中をスケッチして、やっと今、ここに帰って来た。自分自身が、なぜか以前の自分とは違う私になっている気がしていた。なぜかとても清々しくて、ワクワクする自分を感じているのだった。この旅を通して、様々な人達と出会い、そして再会し、「これでよかったのか」と自分の歩んできた道をふりかえさせてくれた旅だった。そして今、手探りで、何かつかみかけていた。



“ 帰ろう！思い立ったらすぐに!! ”

私はもう一度、「少年」の原画を見つめていた。少年の眼差しが私の心を引きつける、保育園で出会った子ども達の顔が走馬灯のように少年の絵とダブって見えてくるのだった。私は涙が止まらなかった。

以下Vol.32へ続く……

船戸くん今回のカットは君の投稿にそぐなかったかもね。事務局の力量では「いわさきちひろの少年を探しきれませんでした。オナゴで勘弁してくれ」

「パパは保母さん」 ～ 保父の育児日記～

発寒ひかり保育園 西村 猛

「ただいま～」の一言が我が家にこだまする。その響きを待ち望んでいた妻と娘は、今にもこぼれ落ちそうな笑顔で私に「おかえりなさい。おつかれさまパパ」と飛びついてくる。

そんな夢を描いて、友希が生まれて1年と半年。現実はその甘くはないのである。

友希が1才を過ぎた頃、私が「ただいま」とドアを開けると「ウギャー!!」と大泣きの日々が続いた。これには私も当初驚いたものだ。妻は苦笑しながら友希を抱き寄せ「おかえりパパ」「友希、パパだよ」と言っては見るものの、その目は恐怖におびえていた。な～でか?と考えるに、一日中かみさんとベツトリの生活にドバーンと男が部屋に入ってくるのは、やはり恐ろしいものなのだろう。それにしても、一日働いて帰ってきたら大泣きされたら、私だってたまったものではない。ただでさえも一般企業の方々よりもずーっとずーっと帰宅する時間が早い、残業もない、特権を持つこの仕事。家庭サービスはお手のもの。そ、それなのに娘ときたら……アアア。帰ってからの一発目にズドン!!と涙爆弾だもんなー。そんなことを思いながら、2ヶ月程が過ぎると、今度は……



私「ただいまー」

友希「ママ、ママー」（と妻の元に走り逃げていく）

私「パパだよーユキー」（と近づく）

友希「ウ、ウー、ママ～」（に抱っこ）

と、するものの、泣かなくなっていった。

そして今は……

私「ただいまー」

友希（目を合わせてママの胸元へ行き）「ウヘヘー」とテレることテレること。

かわいい、かわいいと思い、

私「友希おいでー」と気軽に手をのばして抱き抱えようとする優しいパパ。しか～し

友希「マ、ママー」と未だに泣きそうになる始末……

あー、いつになったら帰宅した私の胸に走り寄ってきてくれるのだろう。あの帰宅した時の3分間にそんな想いをよせているいたいけなパパなのです。

それにしても1才半にもなると、私を友達とってくれるようだ。「こっち、こっち」とソデをひっぱって自分のエリアにつれていき「おっちゃんこ」と座らせて遊び相手をさせたり、ケン玉やぬいぐるみを持ってきて「パパの、ユキの。」とそれぞれに持たせて、私をいいようにマリオネット化させてしまう。

そうやって遊んでいると、「友希にとって、オレは必要不可欠な人間なんだ。そうか、友希は、世界中で一番オレのことが好きなんだ!!」と思わせる程、ベタベタと寄り添い、大いに私といることを幸せに感じている。

あーそれなのに、散歩に行くと転ぶ。部屋で頭をぶつつける等々、「たすけて」の場面では決まって「ママー」だもんなー。

ママ、あなたは偉大だよ、ホントに。オレが一日中友希といたら、きっと気が狂っているかもしれないよ。保育と育児って、全然違うんだナーとしみじみ思う今日このごろのお話でした。

フツと思ってること

最近、私はラビリンス状態にある。何をやっても心がどこかに行っている。とにかく、保育。去年あれほど熱が入っていた保育に、さっぱり熱いものが無い。去年の反動は多大にあるし、去年の子ども達より、今の子ども達のことを愛せないし、愛していない

い。

先日、エヴァンゲリオン最終話を観た。全部で26話あるストーリーを毎週録画して、やっと見た最終話であった。

「ぼくは何のために生きているんだろう」

「何故、戦っているんだろう」等々、主人公は自分の存在価値が解らなくなっている場面が延々と続いていた……

今の私も似ているものが
仕事はとてもやり易いし、
が抜けている状態。周りに
てきとーに親受け、子ども



あるかもしれない。職場では、様々な実績を評価されてきている。実際に、
周りの人々も私に対して悪くは見えていないだろう。しかし、保育現場では魂
はそう見えない様だが、ほんとにてきとー。
受けすることをやっている感じがナー。



でも
れ

「ぼくは何のために保育

「何故、保父として働い

そもそも給与低くてもス
きた私。そんな私が、保

をしているのだから」

ているのだから」という感じ。

ピリットだけは人一倍持ってこの世界に飛び込ん
育、保父にやりがい出てこなかったら大変なこと

んだ。口先だけじゃこの仕事なんてできない。親と深く関わるの疲れてきたし、子どものこと考えるの
疲れてサ、先生なんてあなた達が考えてる程立派じゃないんだ。

今までが頑張りすぎたのかナーって、がむしやらにやってきて、神様が「休め!!」って言ってるのかもし
ないしナー。そんじゃ、ひと休み、ひと休み……

P.S 最近の保父会は、毎回酒が入ってやってるけど、友希が生まれて、飲酒運転やーめた。の私には、とてもつらい場になっ
てる。酒は少々呑むものじゃないし、呑むんだったら、とことんやりたい私はどうもハズまない。会話もハズまない。

だからこそビール園楽しみにしてるよ!!

キャンプ、楽しみだね。

ここ数年の新人保父には、期待できなかった……今年の新人は、有言実行となるのか、見せてもらおう！

西より。

「保育者になろう！」Part 1 保育者のかけら？もみられない私の小学生時代

4月より保育者になって早4ヶ月。えっ？なに……！うっと思っている間にとうとう7月になって、リーダーをしている。
他の保育者の手や足を引っ張り、「あー俺って保育者に合っていないのかな～」なんて思っちゃたりして、「とりあえずガッツ
だぜ!!」で日々を過ごしているのです。

私の趣味は”スポーツ”観戦!! 我家にはTVが一台で、その番組の権利を握っていたのは『じーちゃん』にあったのだった。
観るTVといったら、
(やせたら)プロ野球選
たのです。



ニュース・時代劇・相撲・野球……というわけで、「大きくなった
手、(太ったら)力士」か、どちらかになろうと決意していた小学生時代だっ

しかーし、私は極度の運
ぐにDown。体力ナイナイ
幼稚園生活を送っていた
アに!! ~「俺はスポーツ
ど、観るものだ!!になって
運動音痴だから創造の世



動音痴。喘息持ちの私は、外で遊ぶの大好きだが
人間なのだ。
時に喘息で入院！その時の点滴で体重がダブルス
選手には向いていない」スポーツは少しやるけ
しまった……。



す
コ
く

ん 背番号1」「打った・打ったー ホームラン」なーんてするのが大好きな私だったのです。(いや今もなので「こんな私で
す。」)

発寒ひかり保育園 藤原淳二

例会報告

“すき焼き”につられたのか、前回の例会が良かったのか、なななんと16人もあつまってしまいました。

お久しぶりの大泉善夫氏、大森氏、石田朝武氏の3人も元気でしたよ。

今回は、大阪からきた男性保育者の名称問題についてのアンケートにみんなで答えながら、男性保育者の過去から現在の変遷(?)を確認しあったのでした。

・次回の例会は、7月18日(金曜日)19:00からサッポロビール園(北7東9 / 742-1531)で行います。

出席出来る方は、早めに三村氏まで連絡してください。

遅れてくる方はその旨を電話で伝えましょう。

「保父の会」で予約をとります。

集合場所は、正面玄関前です。集合時間は18:45です。時間厳守をお願いします。



事務局より

前号の写真で、一部の方に不愉快な思いをさせたことを深くお詫び致します。

又、掲載の意図に多大なご理解頂き、大いに笑ってくれた方に感謝致します。



前々回・前回と例会に顔を見せてくれた新人の藤原くんから原稿が西村くんの『パパは保母・・・』の中に同封されてきました。(なんと発行の10日も前に!)これは西村君のオドシかそれとも、この会に賛同してくれたかは定かでないが、藤原君の投稿は事務局の一存で連載とすることを決定しました。たのんだよフジワラくん! 中学・高校・Next・・・まだまだあるゾ
又、現会長の桑原君の『保父男くん』4コマ漫画も次号から再連載してくれるとのこと。タノシミですね!
これで、このHopStepJumpも月一回の発行が出来そうな兆しが見えてきました。皆様のおかげです。

「最近こんなに若い人達が参加して、自分の意見や文章を寄せてくれるのをみて、何か書きたくなっただしょう? ネェあなた。いいんですよ恥ずかしがらずに口の中でブツブツ言ってみましょう。そうしてそのつづやきをホラ、鉛筆を持ってチョットメモ帳に書いてみようかな? ねっ、結構いいもんでしょう文章にすると。そのまま捨てずにFAXして下さい。」

「まだペンを持ってない? なんも恥ずかしくないって! なんでもいいんだから みんな同レベルなんだから!」

今回はオサムちゃんの近況報告なんて聞いてみたい気がするなあ～ ね、**オ・サ・ム ちゃん!**

あの当時、君は元気だったよね。今も元気かい? たまに近況を聞かせてよ。みんな忘れて無いからさ!。

PS. 瀬尾君、原稿届いてないよ! 発行は例会の約1週間前なので、その3日前位までには欲しいな。(君はパスできないぜ)

さて次号のターゲットは誰でしょう?(当会の会員の皆様全員が対象です) 当てた方には豪華景品!

ドキッとしたあなた、すぐに紙と鉛筆を持ちましょう。そして・・・・・・

な～んも感じなかったあなた、次はアンタだよ!

よし、今回も紙面は埋まった! 徒然なる事務局日記 以上

事務局

001 札幌市北区北20条西3丁目19番地 幌北中央保育園内

011-716-1841 Fax 011-716-1852

北海道の子どもと保父の会

Mail Address

Nifty VYG02402